

ホワイトハウス、「世界知的財産の日」に向けた大統領宣言を公表

2025 年 4 月 30 日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、赤木

ホワイトハウスは、4 月 26 日、「世界知的財産の日」に合わせて、米国におけるイノベーションの促進や知的財産保護の強化などに関する大統領宣言（Proclamation）を公表した¹。

「世界知的財産の日」に向けた同宣言は第 1 次トランプ政権下でも公表されており²、その際はコロナウイルスに対抗するために必要となる治療法の開発などと関連付けて知的財産保護の重要性が述べられていた。

トランプ大統領は、このほど公表された宣言の中で、米国をあらゆる技術・創作の分野において常に各国を牽引する存在であると位置づけ、人工知能（AI）などのデジタル技術をはじめとする様々な分野におけるイノベーションの促進に現政権が取り組むことを強調している。

同宣言では、関連する直近の取り組みとして、次の事項が紹介されている。

- デジタル技術やブロックチェーン、サイバーセキュリティなどの重要産業において米国のリーダーシップを堅固にすることを目的とした大統領令への署名³
- 大統領科学技術諮問委員会の設立

また、トランプ大統領は、同宣言の中で、米国の強みや発展は長年にわたって諸外国に搾取されているとし、戦略的な関税措置を通じて通商政策を立て直し、新規または既存の貿易協定を通じて、より強固な知的財産保護を米国で実現する姿勢を明らかにしている。

一方、USPTO は、4 月 30 日に「世界知的財産の日」に合わせたイベントを開催した⁴。同イベントは、2025 年の WIPO のテーマに合わせ「IP and Music: Feel the beat of IP」と題され、知的財産保護に支えられた創作活動がいかに世界中の音楽シーンの発展に寄与するかをテーマとして行われた。

また、USPTO は、4 月 17 日、子ども向け知的財産教育支援を目的としたウェブページ「USPTO Kids⁵」を公表した。このウェブページでは、課題の設定から解決方法の検討、その過程で生まれる知的財産の保護に至るまで段階別のガイダンスが提供されているほか、若い世代の発明家を紹介するなど、イノベーションの創出が身近に感じられるように、子ども、親や教育関係者向けに各種情報コンテンツが提供されている。

（以上）

¹ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/04/world-intellectual-property-day-2025/>

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2020/20200427.pdf

³ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/01/removing-barriers-to-american-leadership-in-artificial-intelligence/>

⁴ <https://www.uspto.gov/about-us/events/world-intellectual-property-day-2025-capitol-hill>

⁵ <https://www.uspto.gov/kids>